

# Giovanni Allevi

～鹿児島混声合唱団と共に～

Giovanni が鹿児島のために書き下ろした合唱曲を世界初演

## Piano Solo 2019

### 日時

2019年6月27日(木)

開演 19:00

開場 18:30

### 場所

かごしま県民交流センター  
(県民ホール)

### 入場料金

一般(大学生含む) 3,000円

高・中学生 2,000円

- ・親子同伴の小学生は無料
- ・就学前のお子様は親子室をご利用ください。



Giovanni Allevi

# 6.27 thu.



昨年、世界的に活躍されているジョバンニ・アレヴィさんのピアノコンサートに、うちの合唱団が参加することになり、光栄に思うと共に、本当なのかなと思いました。しかもイタリアサッカーの応援ソング"O GENEROSA!"をジョバンニさん本人の指揮で本邦初演することになり、貴重な体験をすることが出来ました。今年も、ジョバンニさんが私どもの合唱団のために作曲された曲を歌うことになっています。本当に楽しみです。

鹿児島混声合唱団 H.T

主催：GIOVANNI ALLEVI鹿児島公演実行委員会  
後援：南日本新聞社/KTS鹿児島テレビ  
協賛：鹿児島トヨタ自動車株式会社/日本ガス株式会社/有限会社酒匂保険事務所

鹿児島トヨタ自動車



酒匂保険事務所

【チケット販売】  
山型屋プレイガイド  
十字屋クロス  
鹿児島混声合唱団団員  
連絡先(チケット予約)：有村090-3010-8928



GIOVANNI ALLEVI official website

# Giovanni Allevi

Giovanni が愛する鹿児島のために書き下ろした合唱曲を Piano Solo 2019  
～鹿児島混声合唱団と共に～



ジョヴァンニ・アレヴィ

音楽ジャーナリスト 堂満尚樹

ジョヴァンニ・アレヴィの音楽が世に流れはじめて20年になる。イタリアにいてジョヴァンニの音楽はあちこちにあって、彼の存在を知らぬものもほとんどいない。メディアが挙って取り上げるので国民にとってメロディはいつも身近にあり、たとえばショッピングモールやサッカー競技場にまで行き渡っているのである。イタリアプロサッカーリーグのファンファーレもジョヴァンニの作品。耳に残る旋律美に溢れるものがあれば、リズムを基調としたベース音もって躍動するものもある。ひとつのパッセージを繰り返し高揚していくもの、自在に転調を繰り返すことでそれがあたかも自然の摂理と感じさせてくれるものなど実に幅広い。時として人を癒し、時として人を鼓舞するジョヴァンニの音楽は彼のこのころの欠片とも言おうか。どこまでも驕りのない響はいまイタリアの翼となって世界に羽ばたいていく。



昨年、世界的に活躍されているジョヴァンニ・アレヴィさんのピアノコンサートに鹿児島混声合唱団が参加させていただきました。初めは驚きましたが大変光栄でした。しかもイタリアサッカー、セリエAの公式応援ソング「O GENEROSA!」をジョヴァンニさん本人の指揮で歌うことに貴重な体験が出来ました。今年もジョヴァンニさんが私ども合唱団のために作曲された曲を歌うのを本当に楽しみにしています。団員一同心を込めて歌わせていただきます。

鹿児島混声合唱団

Giovanni Allevi



**PROFILE** 作曲家・ピアニスト。1969年、マルケ州に生まれる。ミラノのヴェルディ音楽院でピアノと作曲を学びながらマチェラータ大学では哲学を学ぶ。自作自演のアルバム『Joy』（2006年）は15万枚を売り上げ、オリジナルのピアノ曲ではイタリア音楽史上初でクラシックチャートの1位を獲得。同じく『Alien』（2010年）はイタリアでの全音楽ジャンルにおいて2位という快挙を果たした。同年、ローマ法王に「Cantata」を献上。国を代表するアーティストとして法王庁に認められオペラ・アワードの「特別賞」を受賞。芸術離れの著しい若者世代からの人気が高く、多くを芸術の場に呼び戻したとして評価を受けている。「21世紀のモーツァルト」、「100年に1度の天才」、「無限のピアニスト」などと呼ばれ国内外で活躍中。作品は番組のBGMとして用いられるなど高い人気を誇り、BMW欧州向けCMで用いられた「Come sei veramente」がスパイク・リーの映像と共に話題となった。また、イタリアプロサッカーリーグのファンファーレ曲「O Generosa!」（2015年）はセリエAのすべての試合において今日も演奏され続けている。2017年10月に新譜『Equilibrium』をリリース。米国人ピアニスト、ジェフリー・ビーゲルに委ねた自作曲の「ピアノ協奏曲第1番」も収録されている。